

### 3 初任者研修におけるメンタリングの事例

#### 3.1 はじめに

新年度が始まる4月、初任教師は、どのような思いで教壇に立つのでしょうか。教師となった喜び、期待に胸を膨らませていることでしょうか。その一方で、授業づくりや学級経営について少なからず不安を感じているかもしれません。入学式や始業式の日、学級担任として子どもたちと出会った時から、初任教師は先輩教師と同じように、一人前の教師として教育活動を行わなくてはなりません。「まだ1年目なのでわかりません。」「できません。」ということは通用しないのです。

そこで、初任教師が子どもたちとの出会いからスムーズに教育活動に入っていけるよう、赴任したその日から、周囲の先輩教師たちが指導・助言を行うこととなります。校長、教頭をはじめ、ある時は同じ学年を担当する教師から、ある時は指導教員からと、日々多くの先輩教師から指導・助言を受けることとなります。つまり、全校の教師が、初任教師の力量形成を支援するために関わり、成長を見守っていくのです。初任教師にとって、このような指導・助言を受けることができる先輩教師の存在はなくてはならないものです。

本章では、初任者研修制度の中で行われるメンタリングの事例を取り上げます。

#### 3.2 初任者研修指導教員として

現在、教職歴35年目を迎えています。一昨年、初任教師の指導教員として、9名の初任教師の指導にあたってきました。一昨年度3名、昨年度3名、今年度3名の初任教師が赴任してきました。初任教師たちの生き生きとした目を見て、彼らが子どもたちや保護者と信頼の絆を結びながら充実した教育活動ができるよう、指導教員として、試行錯誤、軌道修正を繰り返しながら、様々なかたちで支援を続けています。

#### 3.3 初任者研修の実施体制・スケジュール

ここでは、複数の初任教師を指導・助言する場合の実施体制を紹介します。指導・助言の内容については、後に詳述しますが、以下の①～④が主要なものとなります。

- ①入学式、授業参観、懇談会など、行事の前の心構えや準備物の指導
- ②授業の観察と授業の振り返り
- ③クラスで起きた出来事に対する児童や保護者への対応の指示や振り返り
- ④本人たちからの相談に対するアドバイス

授業観察は授業中に行いますが、その他の指導・助言はほとんど放課後に行っています。③のクラスでの出来事は時を選ばず起こるので、朝や休み時間に行う場合もあります。時には、休日に及ぶ場合もあります。初任教師の授業を観察し、指導・助言を行うために、1週間のスケジュールを図表2-1に示したように組んでいます。

### 3 初任者研修におけるメンタリングの事例

	月	火	水	木	金
1 時間目					
2 時間目		初任 B の授業参観	初任 B の授業参観	初任 C の授業参観	
3 時間目			初任 A の授業参観		
4 時間目				校外研修の日	初任 A の授業参観
5 時間目	初任 C の授業参観				
6 時間目					
放課後	指導・助言	指導・助言	指導・助言		指導・助言

(平成 22 年度)

※校外研修・・・研修センター等での講義・演習や企業等での体験研修で、月 1～2 回程度行われます。  
研修のない日は時間割通りの授業を行います。

図表 2-1 1 週間のスケジュール

#### 3.4 初任者研修の実施内容・方法

初任者研修では、教師としての資質や能力を向上させるため、年間を通じて、様々な事柄を扱います。その主要な内容を紹介します（図表 2-2 参照）。

1 学期は、学習（話し方、導入、発問等）や学級経営（当番活動、係活動、学習生活の規律等）の基本、また、子どもや保護者への接し方や帳簿の記入の仕方等、基本的な内容を取り上げました。2 学期は、1 学期よりも授業力や子ども理解力を向上させることに力点を置いた計画を立てました。3 学期は、1 年間の研修の総まとめとして、研修の成果を発表し合う内容を取り入れました。

#### 3.5 初任者研修でのエピソード

ここでは、初任教师から具体的にどのような疑問や不安が出されたのか、それに対して、メンターとしてどのように対応したのか紹介します。

##### (1) 出会いを大切に（4 月始業式を前に）

始業式前日、初任教师に集ってもらい、どのようなクラスにしたいか抱負を述べてもらっています。